

# 有人地帯の目視外飛行（レベル4）の実現等に向けた制度の全体のイメージ

## ポイント

- ① レベル4の実現にあたり、リスクの最も高い飛行についてはこれまで以上に厳格に安全を担保するため、機体の信頼性を確保するための機体認証、操縦する者の技能を確保するための操縦ライセンスの取得を必須とするとともに、運航管理体制については個別に安全体制を審査
- ② 比較的风险の高い飛行については、機体認証、操縦ライセンスの取得、運航管理ルールの遵守前提に、個別の許可承認を省略し、更なる安全かつ円滑な飛行環境を構築
- ③ 機体認証、操縦ライセンスの審査については、民間の審査能力を活用

